

## 各都市発表要旨

### パリ

- ・パリの公共自転車「ヴェリブ」の紹介
- ・個人の考え方を変えることが大事
- ・環境に悪い製品を買わない
- ・芸術を利用した環境保全のPRを行う

### ボストン

- ・アメリカは世界最大の汚染産出国である
- ・アメリカは早急に京都議定書に批准すべき

### ケルン

- ・最も重要な予防手段で長期的な取組である環境教育で、個人の意識を高めることが重要
- ・この会議の後、参加者が環境保護の大使となり、具体的な行動を起こして環境を守るネットワークを作り、環境に変化をもたらすことが重要

### フィレンツェ

- ・水質汚染も世界的に深刻な問題である
- ・市民、政府等のチームワークが重要

### キエフ

- ・天然資源の合理的な使用が必要
- ・政府も企業も住民も、環境問題についての意識が不十分
- ・科学的研究・政府の支援・社会活動が重要

### ウクライナの大都市における問題

- 1 チェルノブイリの被害の影響
- 2 環境に関する法律が政治家や企業に守られていない
- 3 原始的な農業技術による土壌悪化
- 4 ごみ分別・再生システムがない
- 5 化学・機械産業において古い技術が使われているため、公害が発生している
- 6 経済が重工業に偏っている

### 西安

- ・高校生のうちに環境問題についての意識付けを行うことは大変重要
- ・使い捨ての容器をできるだけ使わない
- ・食物を無駄にしない ・水の節約 ・自転車や公共交通機関の積極的利用

### グアダハラ

- ・学校で出るごみからバイオガスを精製する取組を行っている

### ザグレブ

- ・汚染源を理解し、正確に測定していくことが必要
- ・自動車エンジンのデータ分析で燃料の節約と温室効果ガスの削減を図る

### ブラハ

- ・色分けされたごみ容器を使ったりリサイクルが積極的に行われている
- ・車がいない市街地（地下鉄、バス、路面電車の普及）
- ・ブラハの3分の1が緑地→「ブラハ緑地保護制度」の紹介
- ・独自の環境教育プログラムを持っている

### 京都

- ・個人の行動が地球の環境を守ることに繋がらないと考えている人が多い
- ・堀川・紫野高校でのごみ分別、冷房の設定温度を高める、コピーの裏紙利用等